

エリアデザイン調査特別委員会 報告資料

令和元年 7 月 1 日

報告事項件名	頁
(1) 綾瀬・北綾瀬エリアデザインの取組み状況について	1
(2) 花畑エリアデザインの取組み状況について	11
(3) 江北エリアデザインの取組み状況について	13
(4) 六町エリアデザインの取組み状況について	21
(5) 千住エリアデザインの取組み状況について	24
(6) 竹の塚エリアデザインの取組み状況について	29
(7) 西新井・梅島エリアデザインの取組み状況について	32

(政策経営部)

エリアデザイン調査特別委員会 報告資料

令和元年7月1日

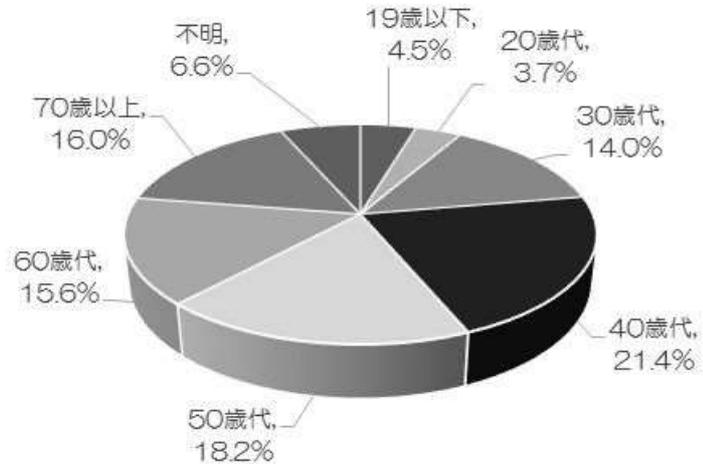
件名	綾瀬・北綾瀬エリアデザインの取組み状況について
所管部課名	エリアデザイン推進室 エリアデザイン計画担当課 市街地整備室 まちづくり課
内容	<p>1 綾瀬ゾーン</p> <p>(1) 綾瀬駅前開発予定地（綾瀬三丁目4番先）に関する要望について 平成31年3月29日付、綾瀬駅東口周辺地区まちづくり協議会より開発予定地に関する要望書を受理した。区は地域の要望を伝えるために、平成31年4月12日付、住友不動産へ要望書を提出した。</p> <p>ア 綾瀬駅東口周辺地区まちづくり協議会の要望書内容（別紙1）</p> <p>（ア）仮囲いを撤去すること及び撤去後の暫定利用も考慮すること。 （イ）事業計画の見通しを早急に示すこと及び低層階へ商業店舗など賑わい施設を配置すること。</p> <p>イ 足立区の要望書内容（別紙2）</p> <p>（ア）協議会の要望を実現すること。 （イ）開発着手まで、区が暫定利用すること。 （ウ）開発計画を進めるにあたり区と十分に協議すること。</p> <p>(2) 綾瀬ゾーンのエリアデザイン計画策定業務委託の入札結果について</p> <p>ア 受託業者</p> <p>（ア）社名 株式会社エックス都市研究所 代表取締役 内藤 弘</p> <p>（イ）所在地 東京都豊島区高田二丁目17番22号 （ウ）契約期間 平成31年4月28日～令和4年3月11日</p> <p>イ 選定方法 指名競争入札</p> <p>ウ 業務委託内容</p> <p>（ア）まちの現状把握及び分析 （イ）将来のまちの方向性の検討 （ウ）区民意見集約</p> <p>(3) 綾瀬駅東口周辺におけるアンケート結果 （しょうぶまつり&世界の食広場 ハト広場会場）</p> <p>ア 総数 1,496件</p> <p>（ア）6月1日（土） 713件 （イ）6月2日（日） 783件</p>

イ 回答者

(ア) 住所

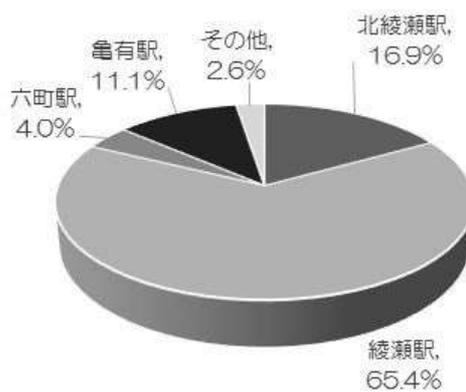
区内在住	73.1%	区外在住	18.5%
不明	8.4%		

(イ) 年齢層

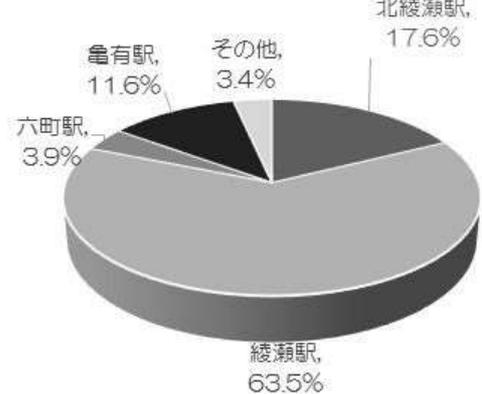


ウ 各駅の利用状況

3月16日直通運転前



現在



エ 綾瀬駅東口周辺地区の課題だと思ふもので、多く選ばれた意見(複数回答)

- 1位 買い物をしたいお店がない 42.9% (642件)
- 2位 歩道が狭く歩きにくい 38.9% (582件)
- 3位 駅前に人や車等がたまる大きな空間がない 33.0% (494件)

オ 綾瀬駅東口周辺地区の必要だと思ふもので、多く選ばれた意見(複数回答)

- 1位 商業施設・店舗の充実 55.3% (828件)
- 2位 歩きやすい歩行環境 41.5% (621件)
- 3位 自動車、自転車が安全で快適に通行できる道路 30.7% (460件)

(4) 綾瀬駅東口周辺地区まちづくり協議会(第2回)について

- ア 開催日時 平成31年3月7日(木) 午後6時30分~午後8時
- イ 場所 綾瀬小学校

ウ 参加者 地元町会自治会等 29名

エ 内容

(ア) 「綾瀬ゾーンエリアデザイン」

綾瀬駅東口周辺地区でのまちづくりの課題と目指すべき方向性について

(イ) これまでの地元要望、陳情等について

(ウ) まちづくりニュース(案)の発行について

オ 主な意見

「新たな駅前開発計画の低層階に商業施設を入れるなど地元意見を取り入れてほしい」や「仮囲いの状態を何とかしてほしい」などの要望を、協議会から区長に書面で提出したい。

(5) 綾瀬駅東口周辺地区まちづくり協議会(第3回)について

ア 開催日時 令和元年6月5日(水)午後6時30分～午後8時

イ 場所 綾瀬小学校

ウ 参加者 地元町会自治会等 22名

エ 内容

(ア) 綾瀬駅前開発予定地(綾瀬三丁目4番先)に関する要望書について

(イ) 住友不動産の現地調査の結果について

(ウ) しょうぶまつり&世界の食広場のアンケート速報について

オ 主な意見

Q1: 協議会内の意見交換を活発にし、具体的なまちづくり計画を早く作成すべきではないか。

A1: 次回協議会は意見集約のため、ワークショップ形式で開催する。

Q2: 住友不動産の駅前開発を待っていては、まちづくりが進まない。

A2: 区側から逆提案できるよう検討していく。

Q3: 東口駅前だけではなく、綾瀬地区全体のまちづくりを考えてほしい。(意見のみ)

(6) 綾瀬駅東口駅前及び駅周辺のまちづくりにおけるスケジュール別紙3のとおり。

2 北綾瀬ゾーン

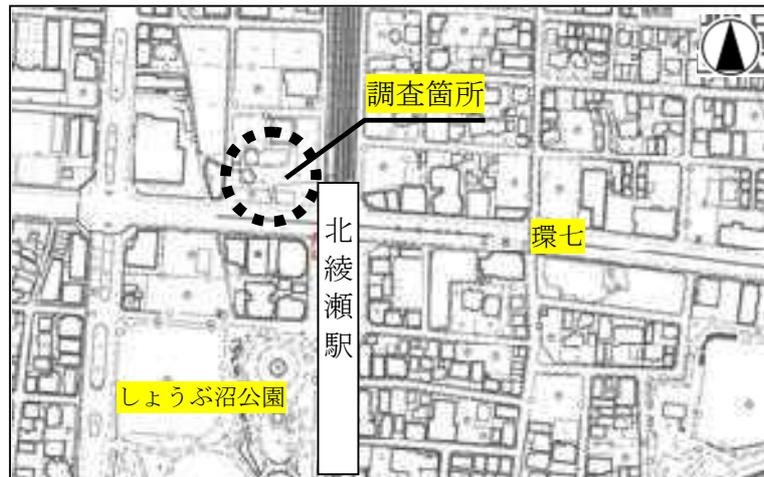
(1) 北綾瀬駅交通広場設置に向けた調査委託

北綾瀬駅周辺に賑わいを作るために交通広場設置に向けて調査を行う。

ア 期間 令和元年～令和2年

イ 調査箇所 下図参照

ウ 業務内容 現況測量、交通解析、整備案の検討、基本条件の整理



【調査箇所図】

(2) 北綾瀬駅周辺地区まちづくり協議会（第4回）について

ア 開催日時 平成31年3月14日（木）午前10時～午前11時

イ 場所 加平町会会館

ウ 参加者 地元町会自治会等15名

エ 内容

(ア) しょうぶ沼公園広場改修計画（案）について

(イ) 北綾瀬ゾーンのエリアデザイン計画について

(ウ) 地区まちづくり構想（案）について

オ 主な質疑

Q1：にぎわいを誘導すべき区域を広くできないか。

A1：今後の駅前交通広場の整備場所を考慮しながら、用途地域変更等の区域取りを検討する。

Q2：用途地域等を変更する際は説明会を開催するのか。

A2：都市計画法に基づき説明会を開催するが、変更案はそれよりも前に本協議会や地権者の意見を伺いながら作成していく。

(3) 北綾瀬駅周辺地区まちづくり協議会（第5回）について

ア 開催日時 令和元年5月16日（木）午前10時～午前11時

イ 場所 加平町会会館

ウ 参加者 地元町会自治会等15名

エ 内容

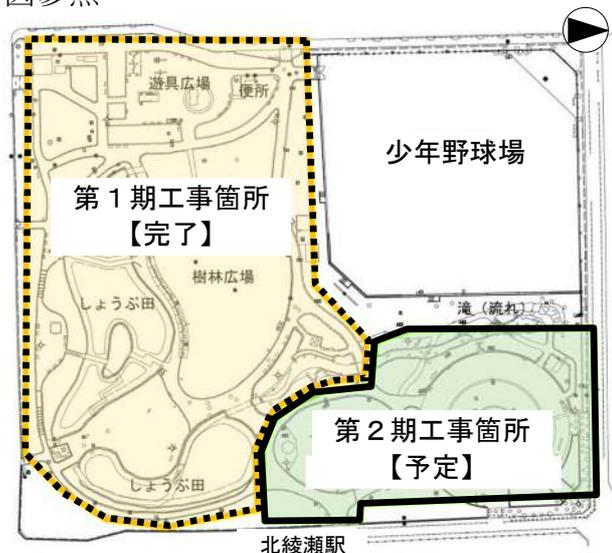
(ア) 北綾瀬駅周辺まちづくりニュース（案）について

(イ) 北綾瀬駅周辺まちづくり意識調査票（案）について

(ウ) しょうぶ沼公園改修工事（第2期）について

- ・ 工事期間 令和元年8月から令和2年5月予定（第2期）
（第1期工事は令和元年5月完了）

- ・ 工事内容 噴水広場の整備（噴水撤去、透水性舗装、トイレ撤去・新築等）
- ・ 工事範囲 下図参照



オ 主な質疑

Q1：新しくできたしょうぶ沼公園側の出入口付近のにぎやかさが足りない。

A1：大きな課題として認識している。今後、検討していく。

カ 今後の予定

年 月	内 容
令和元年9月上旬	まちづくり協議会（第6回）の開催

(4) 北綾瀬駅周辺におけるアンケート結果

(しょうぶまつり&世界の食広場 しょうぶ沼公園会場)

ア 総数 2,419件

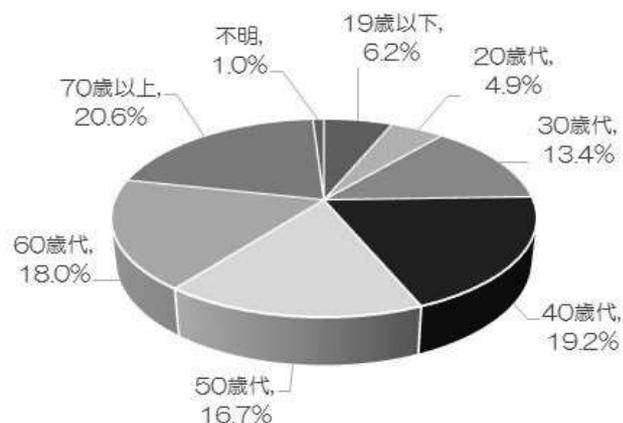
(ア) 6月1日(土) 1,193件

(イ) 6月2日(日) 1,226件

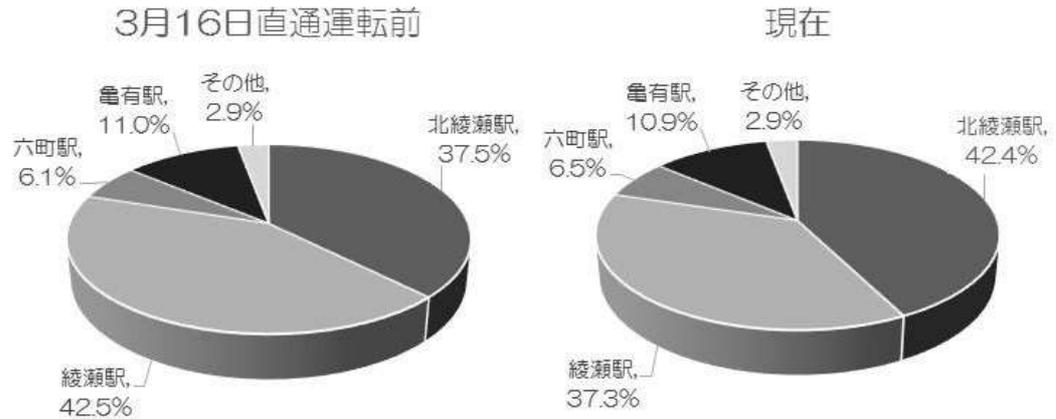
イ 回答者

(ア) 住所 区内在住 79.3% 区外在住 19.6%
不明 1.1%

(イ) 年齢層



ウ 各駅の利用状況



エ にぎわいあふれるまちに必要なもので、多く選ばれた意見（複数回答）

1位	商業施設	71.2%	(1,723件)
2位	駅前交通広場	34.2%	(827件)
3位	駐車場・駐輪場	29.4%	(710件)

参考 これまでの経緯

1 綾瀬ゾーン

- 平成26年 6月 綾瀬エリアデザイン計画の策定
- 平成26年 6月 旧こども家庭支援センター跡地の事業公募を開始
- 平成26年11月 優先交渉権者として東京建物（株）を選定
- 平成27年 7月 事業の凍結、東京建物（株）と契約しないことを決定
- 平成27年 8月 住友不動産（株）が駅前の開発用地（旧マリアージュなど）を取得
- 平成28年 8月 旧こども家庭支援センター跡地を綾瀬小学校及び東綾瀬中学校の仮設校舎用地として活用することを決定
- 平成29年11月 あやせ保育園の移転工事着手
- 平成30年 5月 東綾瀬区民事務所の移転工事着手
- 平成30年 8月 東綾瀬区民事務所の移転完了、運営開始
- 平成30年 9月 あやせ保育園移転完了、開園
- 平成30年11月 綾瀬駅東口周辺地区まちづくり協議会設立
- 平成30年12月 住友不動産株の駅前開発が白紙
- 平成31年 3月 綾瀬駅東口周辺地区まちづくり協議会より駅前開発用地に関する要望書を区へ提出
- 平成31年 4月 住友不動産（株）へ地元要望及び暫定利用の要望を提出

	<p>2 北綾瀬ゾーン</p> <p>平成27年 3月 千代田線北綾瀬駅改良工事に関する施行協定締結</p> <p>平成27年 7月 千代田線北綾瀬駅改良工事着手</p> <p>平成27年 9月 北綾瀬駅周辺町会、自治会より「北綾瀬駅前ロータリー広場に関する要望書」の提出</p> <p>平成29年 2月 北綾瀬駅周辺交通環境改善計画地元説明会の開催</p> <p>平成29年12月 北綾瀬駅周辺地区まちづくり勉強会発足</p> <p>平成30年 5月 北綾瀬駅周辺地区まちづくり協議会設立</p> <p>平成30年 6月 北綾瀬ゾーン意識調査実施（しょうぶまつり）</p> <p>平成31年 1月 北綾瀬ゾーンのエリアデザイン計画住民説明会</p> <p>平成31年 1月 北綾瀬ゾーンエリアデザイン計画パブリックコメント（1月28日～2月28日）</p> <p>平成31年 3月 北綾瀬ゾーンエリアデザイン計画策定 千代田線直通運転開始</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>1 綾瀬ゾーン 駅周辺のまちづくりについては、協議会を中心に地域の意向を聞きながら検討を進めていく。</p> <p>2 北綾瀬ゾーン 北綾瀬駅前交通広場実現に向け、関係者と協議を進めていく。</p>

平成31年 3月29日

足立区長

近藤 やよい 様

綾瀬駅東口周辺地区まちづくり協議会

会長 足立 義夫

綾瀬駅前開発予定地（綾瀬三丁目4番先）に関する要望

時下ますますご発展のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、綾瀬駅東口前の開発予定地につきましては、開発事業者が土地活用のあり方を見直すため、開発計画を白紙に戻すことになったとの報告を区より受けました。

現在、白い仮囲いで囲われた開発予定地は、駅前であり、地域の発展を左右する重要な場所です。ぜひとも早急に、地域の賑わいの中心となる、駅前に相応しい開発がなされることを願ってやみません。

仮に、新事業計画の策定や、建設工事着手に長期間を要せば、仮囲いの状態が綾瀬駅前の景観を損ね、綾瀬のイメージダウンを招きかねないと強く懸念しております。

つきましては、下記の内容を実現して頂きたく、開発事業者である住友不動産と交渉していただきますよう、ここに強く要望する次第です。

区のお力添えを重ねてお願い申し上げます。

記

- 1 開発予定地の仮囲いを撤去すること。仮囲いを撤去した後は、土地の暫定利用についても考慮して下さい。
- 2 事業計画の見通しを早急に示すこと。なお、新しい事業計画を策定するにあたっては、低層階には商業店舗などの賑わい施設を配置願います。

連絡先

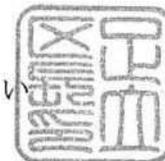
綾瀬駅東口周辺地区まちづくり協議会事務局
市街地整備室まちづくり課東部地区まちづくり係



3.1 足政エ発第3号
平成31年4月12日

住友不動産株式会社
代表取締役社長
仁島 浩順 様

足 立 区 長
近 藤 や よ い



綾瀬駅前開発用地の地元要望及び暫定利用のお願い

日頃より足立区のまちづくりにご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年12月10日に貴社が来庁され、現在手掛けている標記物件につきましては、土地活用のあり方を見直すため開発計画を白紙に戻すと表明されました。

当該地は、綾瀬地域の更なる活性化を図るためには、極めて重要な土地であり、足立区議会や綾瀬駅東口周辺地区まちづくり協議会から、数多くのご意見が寄せられています。

今般、「綾瀬駅東口周辺地区まちづくり協議会」より足立区長宛の要望書が提出され、別紙の通り受理いたしました。

つきましては、区としても地域と同様の考えに立って、下記のとおり要望させていただきます。

記

- 1 綾瀬駅東口周辺地区まちづくり協議会からの要望を実現できるようお取り計らいください。
- 2 開発着手までの期間、区が暫定的な利用ができるようお取り計らいください。
- 3 綾瀬駅前の開発計画を進めるにあたっては、区と十分に協議をしていただきますようお願いいたします。

足立区政策経営部経営戦略推進担当課長

茂木 聡直 (もてぎ としなお)

〒120-8510 足立区中央本町1-17-1南館9階

TEL 03(3880)5812 (直通) FAX 03(3880)5610

E-mail: motegi-toshinao447@city.adachi.tokyo.jp

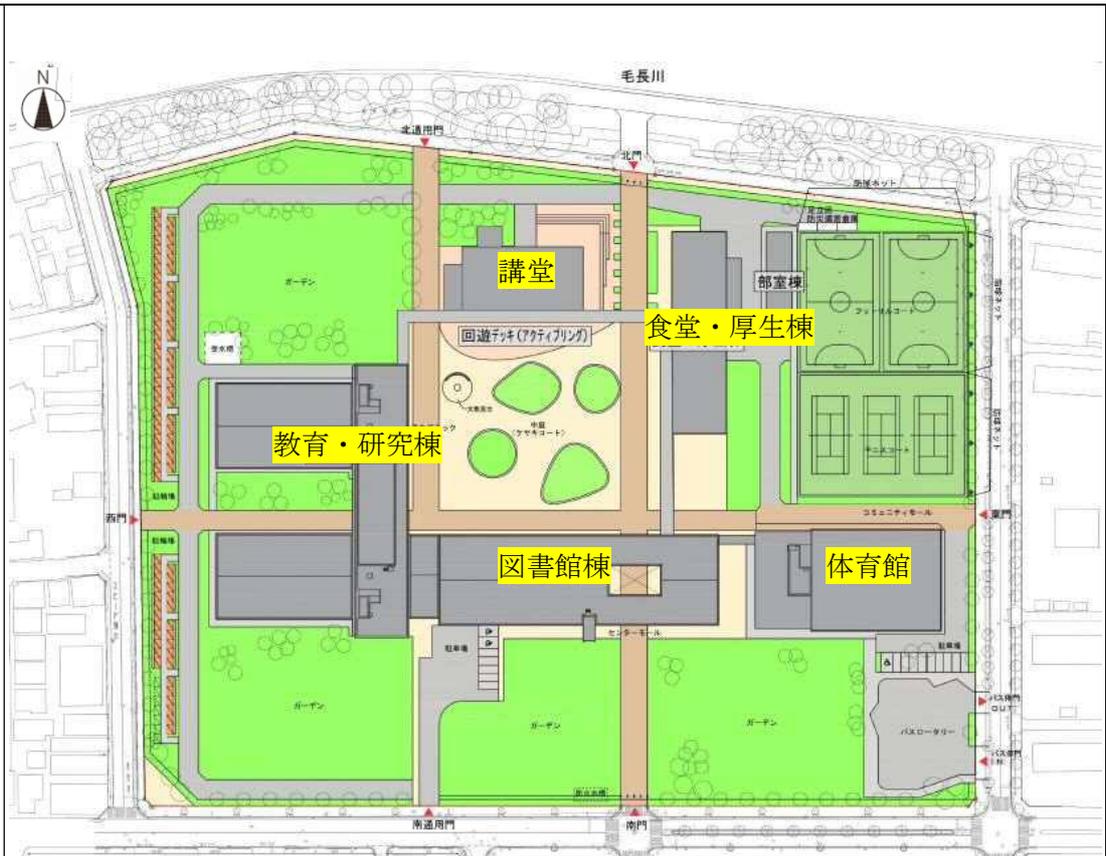
綾瀬駅東口駅前及び駅周辺のまちづくりスケジュール

年度	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)
旧こども家庭支援センター跡地		解体工事	仮設校舎建設	綾瀬小仮設利用	東綾瀬中仕様に改修	東綾瀬中仮設利用	解体
綾瀬小改築工事		設計	工事				
東綾瀬中改築工事				設計		工事	
北綾瀬ゾーン エリアデザイン計画	北綾瀬ゾーンエリアデザイン計画策定						
綾瀬ゾーン エリアデザイン計画			綾瀬ゾーンエリアデザイン計画更新				
まちづくり計画		まちづくり構想	まちづくり計画 都市計画変更内容検討 (用途地域・地区計画等)				
都市計画手続き					都市計画変更 都市計画変更 変更手続	●都市計画変更 ●建築条例（第二定例会）	

エリアデザイン調査特別委員会 報告資料

令和元年7月1日

件名	花畑エリアデザインの取組み状況について																																		
所管部課名	エリアデザイン推進室 エリアデザイン計画担当課 市街地整備室 まちづくり課																																		
内容	<p>1 文教大学東京あだちキャンパスの祝賀会について</p> <p>(1) 開催日時 平成31年4月19日(金) 正午～午後1時</p> <p>(2) 場所 文教大学東京あだちキャンパス予定地</p> <p>(3) 参加者 96名 区長、両副区長、区議会議員13名、草加市長、花畑団地周辺地区まちづくり協議会会長他1名、足立区職員15名、草加市職員1名、文教大学関係者32名、その他29名</p> <p>2 文教大学東京あだちキャンパス建設工事の進捗について</p> <p>(1) 現在の工事の状況 新築工事に着工し、現在、教育研究棟の基礎躯体工事及び図書館棟の掘削工事を行っている。(各棟の位置は次頁配置計画図参照)</p> <p style="text-align: center;">【今後の工事スケジュール】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">教育研究棟</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">図書館棟</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">期間</th> <th style="text-align: center;">工事種類</th> <th style="text-align: center;">期間</th> <th style="text-align: center;">工事種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">平成31年 4月～</td> <td style="text-align: center;">杭・掘削工事</td> <td style="text-align: center;">令和元年 5月～</td> <td style="text-align: center;">杭工事</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和元年 6月～</td> <td style="text-align: center;">基礎躯体工事</td> <td style="text-align: center;">令和元年 6月～</td> <td style="text-align: center;">掘削工事</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和元年 8月～</td> <td style="text-align: center;">地上躯体工事</td> <td style="text-align: center;">令和元年 8月～</td> <td style="text-align: center;">地上躯体工事</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和元年 11月～</td> <td style="text-align: center;">外装・内装工事</td> <td style="text-align: center;">令和元年 11月～</td> <td style="text-align: center;">外装・内装工事</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和2年 5月～</td> <td style="text-align: center;">外構工事</td> <td style="text-align: center;">令和2年 7月～</td> <td style="text-align: center;">外構工事</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和2年 11月</td> <td style="text-align: center;">竣工予定</td> <td style="text-align: center;">令和2年 11月</td> <td style="text-align: center;">竣工予定</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 工事状況 (6月12日現在)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			教育研究棟		図書館棟		期間	工事種類	期間	工事種類	平成31年 4月～	杭・掘削工事	令和元年 5月～	杭工事	令和元年 6月～	基礎躯体工事	令和元年 6月～	掘削工事	令和元年 8月～	地上躯体工事	令和元年 8月～	地上躯体工事	令和元年 11月～	外装・内装工事	令和元年 11月～	外装・内装工事	令和2年 5月～	外構工事	令和2年 7月～	外構工事	令和2年 11月	竣工予定	令和2年 11月	竣工予定
教育研究棟		図書館棟																																	
期間	工事種類	期間	工事種類																																
平成31年 4月～	杭・掘削工事	令和元年 5月～	杭工事																																
令和元年 6月～	基礎躯体工事	令和元年 6月～	掘削工事																																
令和元年 8月～	地上躯体工事	令和元年 8月～	地上躯体工事																																
令和元年 11月～	外装・内装工事	令和元年 11月～	外装・内装工事																																
令和2年 5月～	外構工事	令和2年 7月～	外構工事																																
令和2年 11月	竣工予定	令和2年 11月	竣工予定																																



【配置計画図】

参考 これまでの経緯

- 平成27年 1月 花畑エリアデザイン計画を策定
- 平成27年 3月 UR花畑団地の約4.7haの創出用地に文教大学の進出が決定
- 平成27年 9月 文教大学が用地を取得
- 平成28年 3月 AB街区间廃道敷地を文教大学に売却
- 平成29年 6月 文教大学と包括的な連携協力に関する基本協定を締結
- 平成29年 8月 特別区長会より、地方創生担当大臣と文部科学大臣に対し、東京23区の大学の新增設抑制、地方移転に関する要望書を提出
- 平成29年 9月 大学の設置等に係る許可基準の一部を改正する告示の施行について文部科学省が通知
- 平成30年 3月 文教大学の理事会にて「東京あだちキャンパス」の名称が正式に決定
- 平成30年12月 文教大学東京あだちキャンパス工事説明会
- 平成31年 4月 文教大学東京あだちキャンパス建設工事着手

問題点 今後の方針	文教大学の建設及び予定どおりの開設に向けて、関係所管と綿密に協力していく。
--------------	---------------------------------------

エリアデザイン調査特別委員会 報告資料

令和元年 7 月 1 日

件 名	江北エリアデザインの取組み状況について
所管部課名	エリアデザイン推進室 エリアデザイン計画担当課 資産管理部 資産管理課、資産活用担当課 衛生部 衛生管理課 市街地整備室 まちづくり課
内 容	<p>1 東京女子医科大学(仮称)東医療センターの祝賀会について</p> <p>(1) 開催日時 平成31年3月10日(日)午前10時20分～</p> <p>(2) 場所 東京女子医科大学(仮称)東医療センター移転予定地</p> <p>(3) 参加者 113名 区長、両副区長、衆議院議員2名、都議会議員6名、 区議会議員12名、江北地区町会・自治会連絡協議会会 長他6名、東京女子医科大学・東京女子医科大学東医療セ ンター関係者43名、その他40名</p> <p>2 江北駅から新病院名への駅名改称の取組みについて</p> <p>江北エリアでは、(仮)東京女子医科大学附属足立医療センターを核と したまちづくりを進めている。日暮里舎人ライナー「江北駅」の駅名改 称の取組み状況について、現在の東京都交通局との協議状況及び今後の 進め方を報告する。</p> <p>(1) 駅名改称の目的</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 大学病院誘致の基本方針</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 大学病院を核としたまちづくり</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 足立区のイメージアップと認知度向上</p> <p style="margin-left: 20px;">エ 案内サインの充実</p> <p>(2) 駅名表示案</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 足立医療センター <東京女子医大附属> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正式駅名に民間施設はつけることができない。 ・ 駅名及び< >内副駅名は7文字程度以内(別紙参照) <p>(3) 駅名改称経費</p> <p style="margin-left: 20px;">正式駅名改称経費及び副駅名経費20年間分</p> <p style="margin-left: 20px;">合 計 2億円余</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 現在2億円以下となるよう協議中。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 足立区及び東京女子医科大学の土地賃貸借契約(20年間)と あわせ、認知状況を考慮し、20年後改めて、< >の副駅名</p>

について検討する。

(4) 時期・手続き

令和元年秋頃 地元合意のもと足立区から東京都へ駅名改称の依頼
令和2年春 東京都交通局と経費の上限設定などの協定締結
令和4年春 駅名改称

3 旧江北桜中学校跡地を活用した(仮称)江北健康づくりセンターの整備について

(1) 新施設建設の目的

「健康づくり」をテーマとした江北エリアデザイン計画を推進するための拠点として、以下のコンセプトで整備する。

ア 東京女子医科大学(仮称)東医療センターの移転を機に、江北保健センターと大学病院との連携事業に取り組み、衛生行政のさらなる推進を図る。

イ 高齢者が安心して暮らし続けられるよう、医療と介護の連携体制を強化する。

(2) 整備予定地

旧江北桜中学校跡地 住所：足立区江北五丁目14番1号
面積：7,666 m²

(3) 新施設の機能

ア 江北保健センター

(ア) 東京女子医科大学と連携して患者会への支援や健康教室を開催する。

- ・極小未熟児やがん治療経験者などの患者会の支援
- ・最前線のがん治療等の講演会

(イ) 健康啓発・協創エリアを設置する。

- ・多様な主体による情報発信
- ・体組成や血圧が自主的に計測でき、民間企業と区民及び利用者同士が交流できる場

イ 休日応急診療所

ウ (仮称)医療介護連携センター 【詳細は備考参照】

エ 子育てサロン上沼田(上沼田保育園内子育てサロンを移設)

子育て中の親子どうしの交流を通じて、子育ての不安や負担を和らげるとともに、相談や指導が必要なケースについて、保健センターとの連携を強化する。また、専用出入口の設置により土日曜日も開設し、就労世帯や父親等の利用者拡大を図る。

※その他、施設想定利用者数に見合った駐車場を整備する。

【備考】(仮称)医療介護連携センターの概要は以下のとおり

機能1 医療・介護連携機能

医療・介護連携に必要な情報の収集や提供を行う在宅療養支

援窓口（本庁舎窓口を移転）を中心に、在宅医療・介護連携、困難ケース対応など、医療機関、介護事業者、地域包括支援センターへの支援機能（例：基幹地域包括支援センター、高齢福祉課 高齢援護係など）を集約し強化する。

機能2 研修機能

医療・介護にかかる研修を体系的に実施することで、高齢者を支えるための人材の確保・育成を行う。

【想定している研修】

- ・多職種連携研修・医療・介護スキルアップ研修
- ・介護職員研修・生活支援サポーター養成研修 など

現時点での各機能の想定床面積

名称	想定床面積	参考：竹の塚※1	参考：江北※2
江北保健センター	2,550 m ²	2,476 m ²	1,495 m ²
休日応急診療所	110 m ²	125 m ²	68 m ²
（仮称）医療介護連携センター	1,750 m ²	今回新設	
子育てサロン上沼田	100 m ²	現在上沼田保育園にて60 m ² で運営	

※1 竹の塚保健センター（平成16年建設）

※2 江北保健センター（昭和57年建設）

なお、各機能の床面積は、具体的な運営内容に合わせ、基本設計、実施設計の中で検討していく。

（4）建設する上での制限

保健所以外の公共施設については、おしべ通り沿いの用途地域（第一種住居地域）にしか建設できない。

このため、敷地西側（おしべ通り沿い）に施設を建設し、敷地東側を駐車場として整備する（敷地面積7,666 m²の半分程度を想定）。

（5）課題等

ア 足立区公共施設等総合管理計画の考え方を踏まえながら施設設計等を進めていく。

イ 新施設の名称や愛称及び現在の江北保健センター（足立区西新井本町二丁目30番40号）の跡地活用については、今後の検討課題とする。

（6）スケジュール（予定）

令和元年 6月～ 施設設計委託契約手続き（6月補正予算計上）

令和元年 9月～ 基本設計、実施設計（約14か月）

令和2年度中 旧江北桜中学校解体工事

令和2年12月 建設工事契約議案提出

令和3年 1月～ 新築工事着手

令和4年度中 竣工・開設

4 江北地区まちづくり連絡会（第6回）について

(1) 開催日時 平成31年3月14日（木）午後6時30分～午後8時

(2) 場所 江北地域学習センター

(3) 参加者 地元町会自治会等15名

(4) 内容

ア 東京女子医科大学(仮称)東医療センター移転事業について

イ 病院移転地周辺の交通管理者（警視庁）との協議結果

ウ (仮称)東医療センターまでのバス交通（検討中路線）

(5) 主な質疑

Q1：東京女子医科大学の建設工事について、同じマンションの住民に詳細を説明したいので、スクリーンに映した説明資料を提供してほしい。

A1：資料の提供は可能であるが、大学側の内部確認を取った上で、回答する（5月提供済）。

Q2：上沼田第六公園のロータリーにバス路線の本数が増えると思うがピークの時間帯は何時頃を想定しているか。

A2：具体的なダイヤや運行本数は協議中なので、バスの運行本数は未定である。病院の開院時間がピークになると想定している。詳細が決まった段階で、説明する。

5 東京女子医科大学東医療センター整備及び運営等協議会（第3回）

(1) 開催日時等

ア 開催日時 平成31年3月25日（月）午後7時30分から

イ 場所 本庁舎 13階 大会議室A

(2) 議題

ア 東医療センター移転事業の進捗状況について（東京女子医科大学）

(ア) 工事請負業者の決定及び起工式について

(イ) 今後のスケジュールについて

イ 東医療センター整備の進捗状況について（足立区）

(ア) これまでの経緯について

(イ) 大学病院施設等の整備費に対する補助金の交付について

(ウ) 病院移転地周辺の環境整備について

ウ 東医療センターと地域医療との連携に関して（足立区医師会）

エ 全体を通しての意見交換

(3) 参加委員 16名

ア 足立区医師会 2名

イ 東京都足立区歯科医師会 2名

ウ 足立区薬剤師会 2名

エ 地域住民の代表 2名

オ 東京女子医科大学 4名

カ 長谷川副区長（協議会会長）、工藤副区長、政策経営部長、衛生部長

(4) 主な意見等

ア 新病院建設に伴う周辺道路の整備、無電柱化（電柱の地中化）の実現等について、大胆に進めていってほしいと前回同様に区への力強いエールがあった。（区民代表）

イ 地域医療の連携について、「足立区における病院整備の基本方針」にある「区民が安心できる地域医療の充実」の5つの機能（救急医療・災害時医療・周産期・小児医療・がん診療）を中心に、現場の医師同士が話し合い、情報共有できる場の創出を求める意見があった。（医師会等）

6 東京女子医科大学(仮称)東医療センター建設工事の進捗状況について

(1) 現在の工事の状況

新築工事に着工し、現在、山留工事を行っている。（各棟の位置は次頁配置計画図参照）

【今後の工事スケジュール】

病院棟		学校・寮棟	
期間	工事種類	期間	工事種類
令和元年 6月～	山留・杭他工事	令和元年 7月～	山留・杭他工事
令和元年 10月～	地下躯体工事	令和2年 3月～	地下躯体工事
令和2年 4月～	地上躯体工事	令和2年 6月～	地上躯体工事
令和2年 6月～	外装・内装工事	令和2年 8月～	外装・内装工事
令和3年 2月～	外構工事	令和2年 2月～	外構工事
令和3年 7月	竣工予定	令和3年 7月	竣工予定

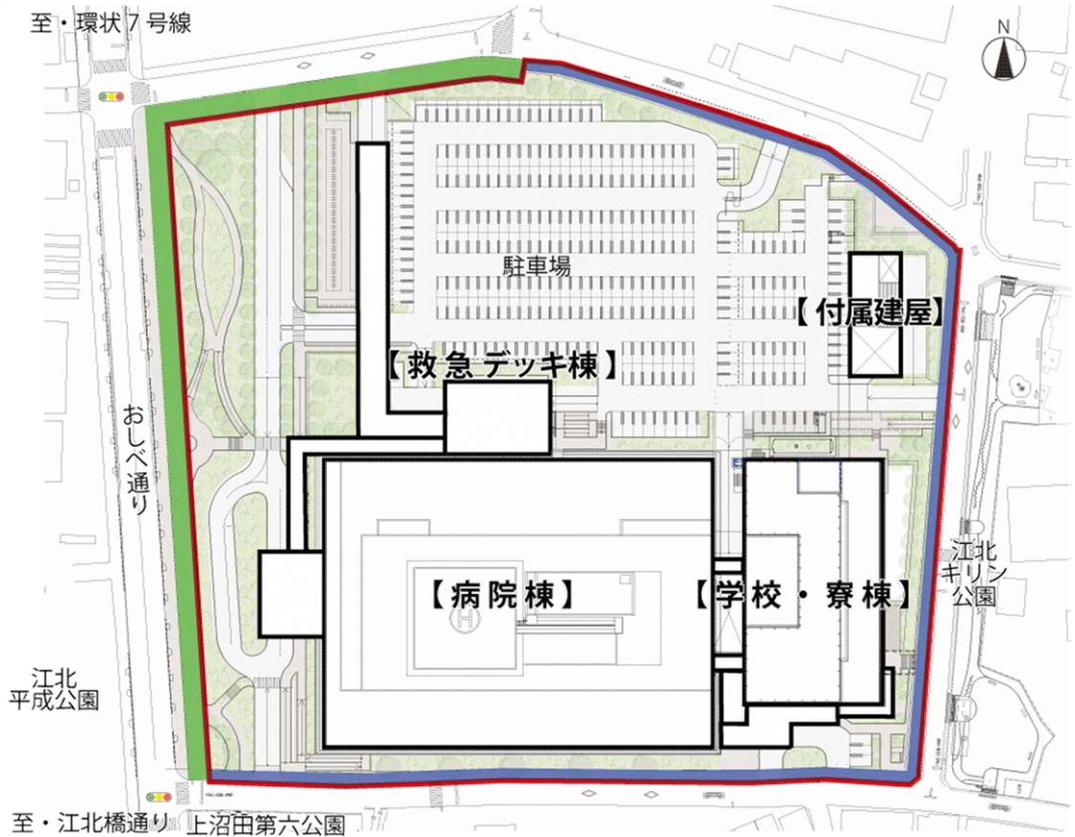
(2) 工事状況（6月末現在）



【事務所設置完了状況】



【山留杭打設状況】



【配置計画図】

参考 これまでの経緯

- | | | |
|-------|-----|---|
| 平成27年 | 4月 | 東京女子医科大学東医療センター移転の覚書締結 |
| 平成27年 | 6月 | 足立区議会大学病院誘致促進議員連盟の設立 |
| 平成28年 | 3月 | 足立区大学病院施設等整備基金条例の制定、同時に積立金60億円計上 |
| 平成29年 | 3月 | 大学病院施設等整備基金積立金50億円計上 |
| 平成29年 | 3月 | 足立区における病院整備の基本方針を策定 |
| 平成29年 | 4月 | 東京女子医科大学東医療センターの建設及び運営等に関する覚書を締結 |
| 平成29年 | 9月 | 東京都より、江北四丁目21～23番地について、土地活用の意向照会 |
| 平成29年 | 9月 | 足立区から東京都へ大学病院用地、区立小学校及び公園用地として活用の意向があることを要望 |
| 平成29年 | 12月 | 江北三・四丁目地区地区計画、江北平成公園、上沼田東公園の都市計画の変更 |
| 平成29年 | 12月 | 大学病院施設等整備基金積立金10億円計上 |
| 平成30年 | 2月 | 江北四丁目22、23番地の地下埋設コンクリート構造物等撤去工事完了 |

	<p>平成30年 3月 東京都と江北四丁目22、23番地について、土地売買仮契約の取り交わし</p> <p>平成30年 7月 東京都と江北四丁目22、23番地について、土地売買契約を締結</p> <p>平成30年 7月 足立区が江北四丁目22、23番地について、土地所有権を取得</p> <p>平成30年 8月 足立区及び足立区議会大学病院誘致促進議員連盟より、東京女子医科大学に対し、東京女子医科大学東医療センター移転に伴う新病院の名称変更に関する要望書を提出</p> <p>平成30年10月 東京都と江北四丁目21番地について、土地売買契約を締結及び土地所有権を取得</p> <p>平成30年11月 江北エリアデザイン計画の策定</p> <p>平成30年12月 東京女子医科大学東医療センターの建設及び運営等に関する基本協定を締結</p> <p>平成31年 3月 東京女子医科大学（仮称）東医療センター工事説明会</p> <p>平成31年 3月 東京女子医科大学（仮称）東医療センターの建設工事着手</p>
問題点 今後の方針	<p>東京女子医科大学(仮称)東医療センターの予定どおりの開設に向けて、関係所管と綿密に協力していく。</p>



エリアデザイン調査特別委員会 報告資料

令和元年 7月 1日

件名	六町エリアデザインの取組み状況について																																																																														
所管部課名	エリアデザイン推進室 エリアデザイン計画担当課 資産管理部 資産活用担当課																																																																														
内容	<p>1 六町駅前区有地の取組み状況について</p> <p>(1) 土壌汚染の状況</p> <p style="padding-left: 20px;">別紙に示す駅前区有地に対する平成31年2月5日付、都から通知された土壌汚染の状況は以下のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">表1 土壌汚染調査結果</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: center;">調査深度 (GL-m)</th> <th style="text-align: center;">ふっ素溶出量</th> <th style="text-align: center;">ふっ素地下水</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0~0.5</td> <td style="text-align: center;">基準値を若干超過</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">基準値を若干超過</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">基準値内</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">基準値内</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">※基準値：0.8mg/L</p> <p>(2) 都の土壌汚染対策の見通し</p> <p style="text-align: center;">表2 六町駅前区有地の取組みスケジュール (案)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: left;">項目</th> <th colspan="4">2019年度</th> <th colspan="4">2020年度</th> <th colspan="4">2021年度</th> <th colspan="4">2022年度</th> <th colspan="4">2023年度</th> </tr> <tr> <th>4</th><th>7</th><th>10</th><th>1</th> <th>4</th><th>7</th><th>10</th><th>1</th> <th>4</th><th>7</th><th>10</th><th>1</th> <th>4</th><th>7</th><th>10</th><th>1</th> <th>4</th><th>7</th><th>10</th><th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left;">土壌汚染対策 水質汚染対策</td> <td colspan="4" style="border: 1px solid black;">対策工事</td> <td colspan="8" style="border: 1px solid black;">モニタリング期間2カ年以上※1</td> <td colspan="4" style="border: 1px solid black;">指定解除</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 土壌汚染対策法による形質変更時要届出区域※2の指定解除をするためのモニタリング調査は、汚染土壌掘削除去工事後、1年に4回以上定期的に地下水を採取し、地下水汚染が生じていない状態が2年間継続することを確認する必要がある。なお、基準値の超過が認められた場合は、改めてその時点から2年間の継続調査が必要となる。</p> <p>※2 形質変更時要届出区域は、人の健康への被害が生じる可能性があるとはいえない区域。直ちに汚染除却等の措置の必要は無いが、土地の形質変更を行う場合は、汚染の拡散を防止するため都道府県知事等に事前に届出を行うとともに、施行方法について一定の制限を守る必要がある。</p>											調査深度 (GL-m)	ふっ素溶出量	ふっ素地下水	0~0.5	基準値を若干超過	基準値を若干超過	1	基準値内	2	基準値内	項目	2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				2023年度				4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	土壌汚染対策 水質汚染対策	対策工事				モニタリング期間2カ年以上※1								指定解除			
調査深度 (GL-m)	ふっ素溶出量	ふっ素地下水																																																																													
0~0.5	基準値を若干超過	基準値を若干超過																																																																													
1	基準値内																																																																														
2	基準値内																																																																														
項目	2019年度				2020年度				2021年度				2022年度				2023年度																																																														
	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1																																																											
土壌汚染対策 水質汚染対策	対策工事				モニタリング期間2カ年以上※1								指定解除																																																																		

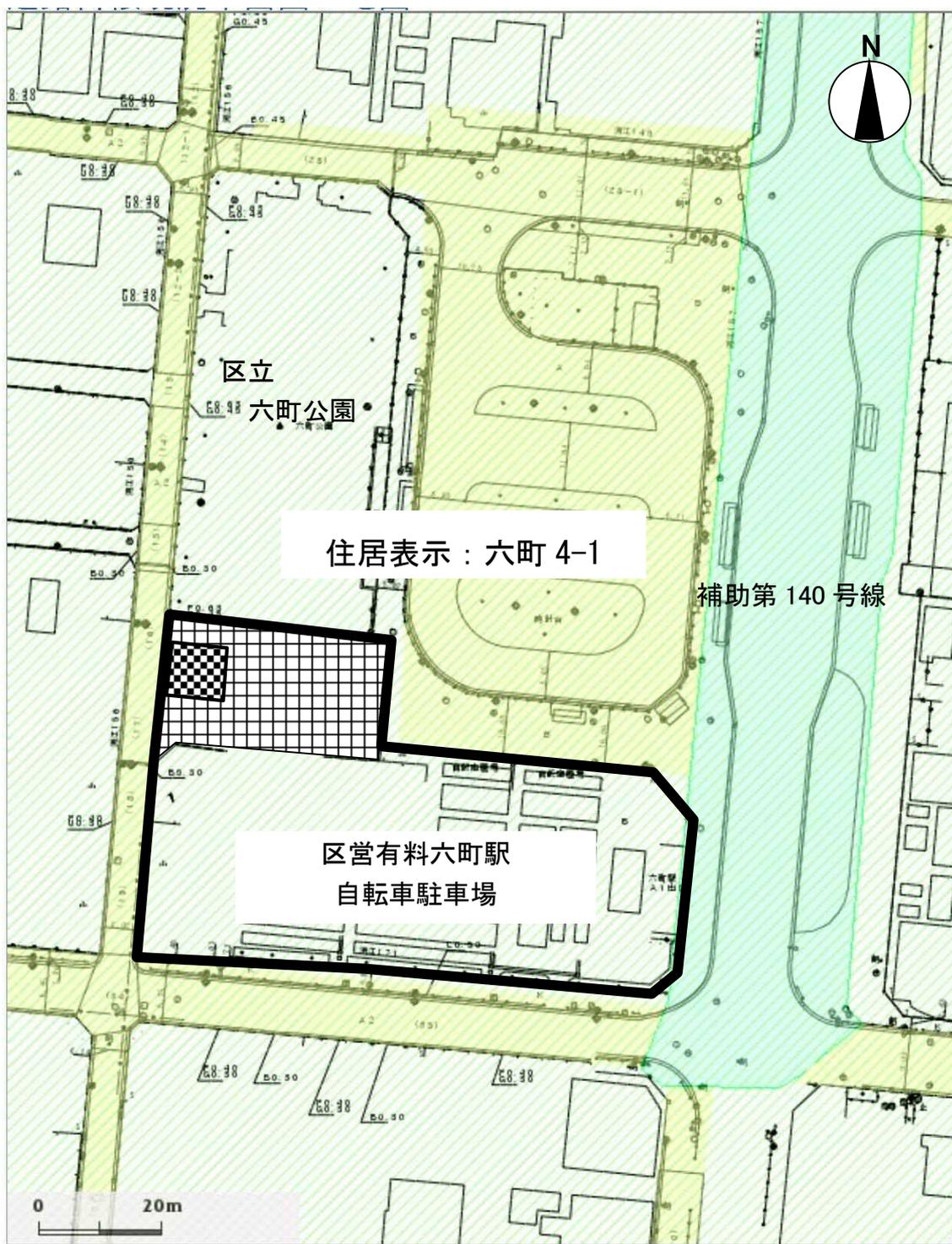
(3) 公募事業の実施時期について

上記表2に示すとおり、当該地の指定が解除されることを前提に公募事業を実施する必要がある。については、都と綿密に調整を図り、モニタリング調査の状況を踏まえながら、公募条件や要領の作成時期を見極めていく。

参考 これまでの経緯

- 平成28年 2月 六町駅前区有地に関するサウンディング型市場調査を実施（10者が参加）
- 平成28年 5月 区民説明会（1回）加平小学校
街頭説明会（2回）六町駅改札口横及び保塚地域学習センター
- 平成28年 9月 六町エリアデザイン計画案パブリックコメントの実施（10月17日まで）
区民説明会（2回）加平小学校
- 平成28年12月 六町エリアデザイン計画を策定
- 平成29年 3月 防犯・防災活動拠点整備検討会議（第一回）
- 平成29年 6月 防犯・防災活動拠点整備検討会議（第二回）
- 平成29年 9月 防犯・防災活動拠点整備検討会議（第三回）
- 平成29年12月 ワークショップの開催（町会関係者）
- 平成30年 1月 ワークショップの開催（PTA、地元商店会等）
- 平成30年 2月 防犯・防災活動拠点整備検討会議（第四回）
- 平成30年 8月 六町駅前安全安心ステーション設置に向けた基本的な考え方（案）を策定
- 平成30年 8月 防犯・防災活動拠点整備検討会議（第五回）
- 平成30年10月 防犯・防災活動拠点整備検討会議（第六回）

問題点 今後の方針	駅前区有地の事業者公募の実施に向け、庁内連携に取り組んでいく。
--------------	---------------------------------



六町駅前区有地換地受領状況

	換地指定	予定数量	3, 641.55 ^m ²
		(うち受領済)	3, 020.00 ^m ²
	未受領地		620.55 ^m ²
	土壌汚染地 (未受領のうち)		約100.00 ^m ²

エリアデザイン調査特別委員会 報告資料

令和元年7月1日

件名	千住エリアデザインの取組み状況について
所管部課名	エリアデザイン推進室 エリアデザイン計画担当課 市街地整備室 千住地区まちづくり担当課
内 容	<p>1 北千住駅東口周辺地区まちづくり連絡会（第63回）について</p> <p>（1）開催日時 平成31年3月15日（金） 午後7時～午後8時10分</p> <p>（2）場所 東京電機大学東京千住アネックス</p> <p>（3）参加者 地元町会自治会11名、商店街9名、 再開発準備組合1名、近隣学校2名</p> <p>（4）内容</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 北千住駅東口周辺地区のまちづくりについて</p> <p style="padding-left: 40px;">・アンケート及び交通量調査の結果報告</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 耐震助成制度の内容と活用方法について（建築安全課）</p> <p style="padding-left: 20px;">ウ 東京電機大学からの報告</p> <p style="padding-left: 40px;">・入学式実施について</p> <p>（5）主な質疑</p> <p style="padding-left: 20px;">Q1：アンケート調査の結果はどのように活用するのか。</p> <p style="padding-left: 20px;">A1：まちづくりの方針を検討していくための一つの材料である。</p> <p style="padding-left: 20px;">Q2：交通量調査は時間別に分析は行っているのか。</p> <p style="padding-left: 20px;">A2：15分ごとに分析を行っている。</p> <p>2 北千住駅東口周辺地区まちづくりだよりについて（別添資料千住関連）</p> <p>（1）配布枚数 約8,000部</p> <p>（2）対象者 北千住駅周辺地区まちづくり構想の対象地域内（千住旭町・日ノ出町・柳原二丁目・千住五丁目一部）の 居住者及びテナント賃借人</p> <p>（3）配布方法 全戸ポスティングで配布</p> <p>（4）内容 アンケート及び交通量調査の結果報告</p> <p>3 北千住駅東口周辺地区のアンケート調査から浮き彫りになった問題点 や要望について</p> <p>（1）区域内居住者のアンケート調査結果</p> <p style="padding-left: 20px;">ア まちづくりに対する参加の考え</p> <p style="padding-left: 40px;">・何らかの方法で積極的に参加したい (45.3% 583件)</p> <p style="padding-left: 40px;">・協力を求められれば参加したい (37.7% 486件)</p>

イ 居住者が望む将来の北千住駅東口周辺地区のイメージ

(ア) 買い物

- ・「買い物がしやすい」まちを希望 (37.9% 488 件)
- ・ 日常買い物ができる商業施設を整備してほしい
(駅前地区 36.3% 469 件)
(学園通り商店街 42.4% 547 件)

(イ) 防犯

- ・「犯罪が少ない」まちを希望 (37.7% 486 件)
※過去のアンケート調査で防犯対策に問題を感じている割合
平成18年度 (3.9% 39 件)

(ウ) 災害

- ・「災害に強い」まちを希望 (33.6% 433 件)
- ・ 洪水など自然災害に対する安全性への満足度 (-42 ポイント)
- ・ 火災の発生や延焼に対する安全性への満足度 (-37 ポイント)
※対象地域内における燃えやすい建物(防火造・木造)の割合
平成28年度約68% (平成18年度約80%)
※過去のアンケート調査で防災対策に問題を感じている割合
平成18年度 (6.1% 61 件)

(エ) 高齢者

- ・「高齢者が生活しやすい」まちを希望 (23.8% 307 件)
- ・ 高齢者等が生活しやすいように交流の場や介護施設・病院を整備してほしい
(駅前地区 10.8% 140 件)
(既存住宅地 31.1% 401 件)
※高齢化率(65歳以上の人口割合) 足立区全域 24.8%
対象区域内 29.9%

ウ その他

- ・ 鉄道の利用しやすさに対する満足度 (+87 ポイント)
- ・ 荒川や公園などの自然に対する満足度 (+51 ポイント)
- ・ このままでよいと回答 (駅前地区 5.2% 68 件)
(既存住宅地 4.1% 53 件)

(2) 区域外居住者及び来街者のアンケート調査結果

ア 北千住駅に行く目的

- ・ 買物 (区域外 80.8% 379 件)
(来街者 71.4% 495 件)
- ・ 食事 (区域外 54.6% 256 件)
(来街者 46.0% 319 件)

イ 買い物

- ・ 日常の買い物ができる商業施設を充実してほしい
(区域外 40.4% 243 件)
(来街者 48.6% 440 件)

ウ 道路

- ・ 歩道と車道を分けた道路を整備してほしい
(区域外 30.0% 180 件)
(来街者 29.7% 269 件)
- ・ 道路を拡幅整備してほしい
(区域外 28.1% 169 件)
(来街者 24.0% 217 件)

※駅前道路の歩行者交通量（12時間、午前7時～午後7時）

平日約13%増加	平成24年度 約30,000人
	平成30年度 約34,000人
休日約42%増加	平成24年度 約19,000人
	平成30年度 約27,000人

4 平成20年度「北千住駅東口周辺地区まちづくり構想」変更後の社会状況の変化と区上位計画の改定について

(1) 社会状況の変化

ア 東日本大震災の影響と災害対策への意識向上

- ・ 地震に強いまちの形成
- ・ 駅前滞留者対策の充実

イ 水害に対する意識の向上

- ・ 洪水ハザードマップの作成（荒川決壊時の最大浸水深は5m以上、浸水継続時間は2週間以上）
- ・ タイムラインの作成

ウ 東京電機大学進出

- ・ 平成24年4月開学
その後、5号館を開設。現在約6,500名の学生が通学。

エ 都市計画道路の整備

- ・ 平成24年3月区画街路第12号線（駅前広場・道路）供用開始

(2) 区上位計画の改定

ア 足立区基本構想（平成28年10月）

- ・ 協創によるまちづくりの推進

イ 足立区基本計画（平成29年2月）

ウ 足立区都市計画マスタープラン（平成29年10月）

エ 足立区地区環境整備計画（平成30年3月）

5 北千住駅東口周辺地区の今後の取り組み方針

今回の調査から下記の課題が浮き彫りになったことから、平成20年度に変更したまちづくり構想に、これらの新たな視点を加えた変更を行う。

(1) 新たに追加すべき内容

- ア 犯罪が起こりにくい安全なまちの形成
- イ 大規模水害から命を守る安全なまちの形成
- ウ 駅前の歩行空間の確保及び駅前の顔づくりによる活性化
- エ 超高齢・人口減少社会への対応方策
- オ UR都市機構（日の出町団地）の建替え

(2) 加筆すべき内容

- ア 協働・協創のまちづくりの推進
- イ 飲食店テナントだけでなく、日常買い物ができる商業施設の誘導
- ウ 建替え促進による不燃領域率の向上方策
- エ 地震や火災等の災害に強いまちの形成
- オ 大学連携のさらなる強化

6 北千住駅東口周辺地区の今後のスケジュール（予定）

時 期		内 容
令和 元年	夏頃	まちづくり構想変更素案の作成
	秋頃	まちづくり構想変更案のパブリックコメント実施 まちづくり構想変更案の地元住民説明会開催

7 千住大川端地区（A工区）開発推進連絡会について

(1) 開催日時

平成31年4月17日（水）午前9時50分～午前10時50分

(2) 場所

本庁舎 8階 庁議室

(3) 出席者

東京製鐵(株)4名、岡田商事2名、東武鉄道(株)4名、足立区 工藤副区
長ほか7名

(4) 主な議事内容

- ア これまでの主な協議事項の確認（経過確認）
- イ 今後の進め方について
- ウ 周辺小学校の進学状況

	<p>参考 これまでの経緯</p> <p>1 千住一丁目再開発 平成26年 6月 千住一丁目地区第一種市街地再開発準備組合設立 平成27年 7月 都市計画決定 平成28年 4月 組合設立認可 平成28年12月 権利変換計画認可 平成29年 1月 除却工事着手 平成29年10月 除却工事完了 平成29年11月 工事着手 平成30年 3月 再開発組合が千住一丁目町会、千住二丁目町会及び千住本町商店街振興組合と風環境、多目的室利用に関する覚書を締結</p> <p>2 千住大橋地区 平成18年 3月 住宅市街地総合整備事業開始 平成24年 4月 千住大橋さくら公園開園 平成26年 2月 駅前広場完成 平成26年 4月 ポンテポルタ開業 平成28年12月 千寿小学校仮校舎建設 平成29年 3月 隅田川スーパー堤防全面開放</p> <p>3 北千住駅東口再開発 平成28年 8月 北千住駅東口地区市街地再開発準備組合設立(南地区) 平成29年 8月 北千住駅前地区市街地再開発準備組合設立(北地区)</p>
問題点 今後の方針	再開発等の進捗状況を注視していく。

エリアデザイン調査特別委員会 報告資料

令和元年7月1日

件名	竹の塚エリアデザインの取組み状況について
所管部課名	エリアデザイン推進室 エリアデザイン計画担当課 鉄道立体推進室 竹の塚整備推進課、鉄道関連事業担当課
内容	<p>1 竹の塚エリアデザイン計画策定業務委託の入札結果について</p> <p>(1) 受託業者</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 社名 ランドブレイン株式会社 代表取締役 吉武 祐一</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 所在地 東京千代田区平河町一丁目2番10号</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 契約期間 平成31年4月27日～令和3年3月12日</p> <p>(2) 選定方法 指名競争入札</p> <p>(3) 業務委託内容</p> <p style="margin-left: 20px;">ア まちの現状把握及び分析</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 将来のまちの方向性の検討</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 区民意見集約</p> <p>2 区画街路第14号線の進捗状況について（別紙）</p> <p>(1) 用地2件取得（総用地数 21件、残り 5件） 取得面積率 約90%（駅前広場東武鉄道用地除く）</p> <p>(2) 今後の進め方</p> <p style="margin-left: 20px;">西口駅前広場の整備時期を考慮しながら、丁寧に用地交渉を行うとともに、収用手続きも視野に入れ、令和2年度末を目途に取得を進める。</p> <p>3 竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会理事会の開催について</p> <p>(1) 開催日 平成31年4月16日（火）</p> <p>(2) 場所 本庁舎 8階 特別会議室</p> <p>(3) 主な内容</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 竹ノ塚駅付近連続立体交差事業の事業認可（変更）について</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 鉄道高架化工事の進捗状況について</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 今年度の予定について</p>

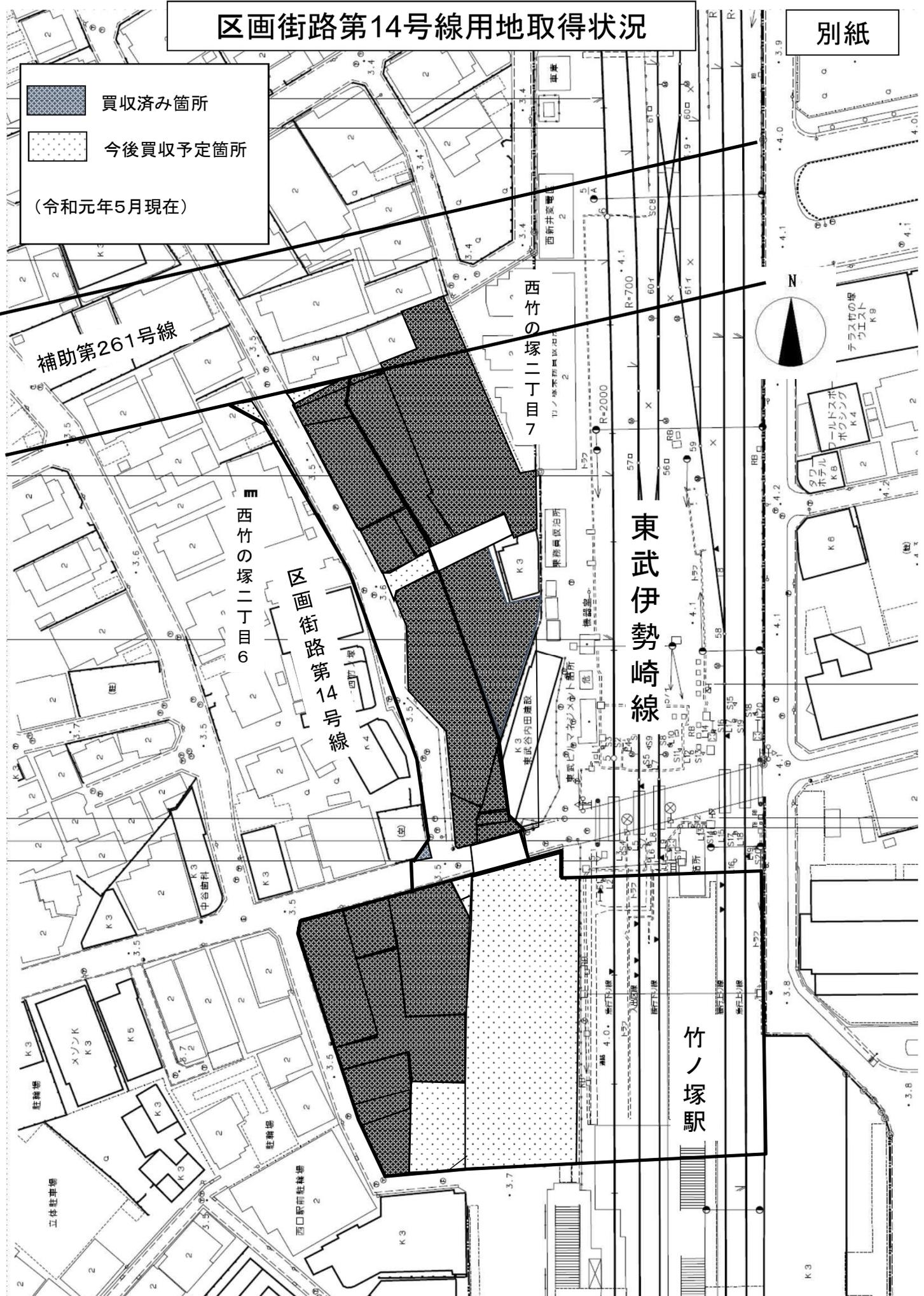
	<p>参考 これまでの経緯</p> <p>1 竹ノ塚駅付近鉄道高架化 平成23年 3月 都市計画決定 平成23年12月 事業認可 平成24年11月 工事着手 平成28年 5月 下り急行線高架化 平成31年 1月 事業認可変更（期間延伸）</p> <p>2 まちづくりについて 平成20年12月 竹ノ塚駅周辺地区まちづくり構想策定 平成23年 3月 区画街路第14号線及び東口駅前広場 都市計画決定 平成23年12月 区画街路第14号線事業認可 平成26年 3月 竹ノ塚駅周辺地区（中央ブロック） 地区まちづくり計画策定 平成27年 3月 区画街路第14号線事業認可変更 （期間延伸） 平成27年 3月 竹ノ塚駅周辺地区（中央ブロック） 地区計画（素案）説明会（1回目） 平成29年 3月 区画街路第14号線事業認可変更 （区域変更、期間延伸） 平成29年 3月 竹ノ塚駅周辺地区（中央ブロック） 地区計画（素案）説明会（2回目） 平成29年 7月 竹ノ塚駅中央地区地区計画（原案）説明会 平成29年11月 竹ノ塚駅中央地区地区計画決定・告示 平成31年 2月 竹ノ塚駅周辺エリア都市再生検討会トップ会議</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>1 鉄道事業者との連携や国・都の積極的な協力を得て、早期の完成を目指す。 2 着実な事業の進捗に向けて、国庫補助金等の財源確保に努める。</p>

区画街路第14号線用地取得状況

別紙

-  買収済み箇所
-  今後買収予定箇所

(令和元年5月現在)



エリアデザイン調査特別委員会 報告資料

令和元年7月1日

件名	西新井・梅島エリアデザインの取組み状況について				
所管部課名	エリアデザイン推進室 エリアデザイン計画担当課 市街地整備室 まちづくり課、中部地区まちづくり担当課				
内容	<p>1 東武鉄道との検討会の開催状況について</p> <p>(1) メンバー</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 東武鉄道㈱ 生活サービス創造本部アセット戦略担当部長 ほかい イ 足立区 市街地整備室長 ほかい</p> <p>(2) 開催日 平成31年1月25日、2月7日、3月6日、4月25日 令和元年6月11日</p> <p>(3) 主な検討事項</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 駅東西の往来の利便性向上に係る事項 イ 西口交通広場整備、及び東西駅ビル改修等に係る事項 ウ 東武鉄道、足立区及び足立区土地開発公社が各々所有する土地の有効活用に係る事項</p> <p>(4) 西口駅ビル（東武ストアが入居していた箇所）の解体工事について 令和元年7月着手予定</p> <p>(5) 今後の予定</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; width: 80%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">年 月</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年8月頃</td> <td>検討会（第6回）の開催</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <p>The map shows the area around Shinshinji Station. Key locations marked include Tokai Store (東武ストア), West Exit Tokai (西口トスカ), Shinshinji Station (西新井駅), Tokai Tokai (東口トスカ), and Tokai Mansions (東口マンション). A 'Former Passage' (既存通路) with a width of 5.4m is also indicated. Other labels include 'Municipal Land' (公社用地) and 'Akihabara District 9th Line Traffic Plaza' (足立区画街路第9号線交通広場).</p> </div> <p>2 西新井駅東口周辺地区まちづくり協議会の開催について</p> <p style="margin-left: 20px;">平成30年度に計3回のまちづくり勉強会を開催してきたが、今後はまちづくり協議会を設立し進めていく。令和元年7月開催予定。</p>	年 月	内 容	令和元年8月頃	検討会（第6回）の開催
年 月	内 容				
令和元年8月頃	検討会（第6回）の開催				

3 西新井・梅島エリアデザイン計画について

(1) 説明会の実施について

まちの現状やまちの将来像についての意見を募るため、説明会を実施する。説明会で展示するパネルは別添資料西新井・梅島関連を参照。

ア オープンハウス型説明会（街頭説明会）

(ア) 開催日時（予定） 7月19日（金） 午後3時～午後8時
7月27日（土） 午前11時～午後4時

(イ) 場所（予定） 梅島駅、西新井駅

イ 住民説明会

(ア) 開催日時（予定） 8月29日（木） 午後7時～午後8時

(イ) 場所（予定） こども支援センターげんき

(2) 今後の予定

令和元年 7月 オープンハウス型説明会（街頭説明会）

8月 住民説明会

12月 エリアデザイン計画（案）の策定

住民説明会

パブリックコメントの実施

令和2年 3月 エリアデザイン計画策定

4 梅田八丁目アパート創出用地について

創出用地の取得に向けて、別紙のとおり東京都住宅政策本部へ要望書を提出する。

(1) 土地概要

ア 位置 足立区梅田八丁目430番

イ 土地面積 約6,300㎡（測量未実施）

(2) 取得目的

梅田図書館等の老朽化した周辺公共施設の再配置及び南北線の整備に活用するため。

(3) 経緯

年 月	内 容
平成20年度～	都営梅田八丁目アパート建替事業着手
平成29年 7月	創出用地部分の建物解体、建替事業完了
平成31年 3月	東京都第六建設事務所が創出用地部分を仮設庁舎として使用するため、住民説明会を開催
平成31年 4月	仮設庁舎の建設工事に着手
令和 3年 3月	仮設庁舎使用期間を終了し、更地化（予定）

	<p>(4) 今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 創出用地及び再配置施設跡地の具体計画の策定 イ 土地取得に向けた東京都との調整 ウ 南北線の取扱い <p>参考 これまでの経緯等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 西新井駅周辺について <ul style="list-style-type: none"> 平成27年 1月 西口駅前広場の都市計画変更 平成28年 2月 東西自由通路について、東武鉄道、イオンリテール及び区の三者で勉強会を開始（現在休止） 平成30年 4月 既存通路活用案で協議を継続することを決定 2 都市基盤について <ul style="list-style-type: none"> 昭和32年12月 西新井公園の都市計画決定 昭和41年 7月 補助第255号線の都市計画決定 3 都営梅田八丁目団地について <ul style="list-style-type: none"> 平成20年度 建て替え工事着手 平成29年7月 既存建物（創出用地）の解体完了 4 事業中の都市基盤 <ul style="list-style-type: none"> ・主要区画道路② 令和2年度完了予定 ・補助第138号線 令和3年度完了予定
<p>問題点 今後の方針</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 西新井駅西口駅ビル建替え等について、検討会の開催等により東武鉄道との調整を継続する。 2 西新井駅東口周辺地区のまちづくり計画策定のため、協議会運営の準備を行う。

(案)

31足政エ〇〇第〇号
令和元年〇月〇日東京都住宅政策本部
本部長 榎本 雅人 様

足立区長 近藤やよい

都営梅田八丁目アパート創出用地の取得について（要望）

日頃より足立区政にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

足立区では、大規模用地等の活用を図ることで、地域の活性化や区のイメージアップにつながる「エリアデザイン」の取組みを進めており、今年度、西新井・梅島エリアのまちの将来像を掲げたエリアデザイン計画を策定する予定です。

都営梅田八丁目アパートにつきましては、平成29年8月、都営住宅建替事業により旧住宅棟の解体工事が完了し、今後、足立区梅田八丁目13番地の一部に約6,300㎡（別添位置図）の用地が創出されると伺っております。

足立区としては、老朽化した周辺公共施設の集約等に活用するため、当該用地の取得を希望いたします。

何卒、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

担当

足立区 政策経営部

経営戦略推進担当課長 勝田 健児

〒120-8510 足立区中央本町1-17-1 南館9階

TEL 03(3880)5812 (直通) FAX 03(3880)5610

E-mail:katsuta-kenji413@city.adachi.tokyo.jp

位置図

